



ここは「株式会社アフロディーテ
フェアリー所属乳業」
目の前の牛娘さんは今日の来客
「367」室に長くサービスする客なので
スタッフたちは彼女のこと「367」と呼ぶ

性行為で牛娘のホルモンを刺激し搾乳をする
会社と違って、本社は最先端のVR技術を使って
ビッグデータの学習と五感の
シミュレーションを通じて、牛娘たちに魔法の
ような体験ができる
更に、実な性行為がないため、未成年の牛娘でも
本社でのアルバイトすることによって、楽観的
な収益をもらえる



搾乳をする前に、牛娘たちに胸を丸出しの必要だ



何回もアルバイトをしていますが見知らぬ人の前に自らの上半身を裸にするのは、目の前の未熟な子牛にとつて、やはり少し照れている

胸を丸出しにしていたら、スタッフは「367」さん
を手伝ってVR設備を装備します
一連の調整をしてたら、やっと本題が始まる



「367」さん男性に対して異常なる恐怖を持っているため特別なVRシートの対象を調整した、それが今彼女の目の前に映っているもの

「ふたなり牛娘」



「367」さん男性に対して異常なる恐怖を持っている
ため
特別なVRシートの対象を調整した、それが今彼女
の目の前に映っているもの

「ふたなり牛娘」



男性恐怖症の彼女には、男性に対して興奮すること
ができな
両性特徴を持つふたなり牛娘には、**「367」**さんは
抵抗せずところが
むしろ更なる興奮した様子に見える、**両手**の動き
はそれを上手く証明した

「367」さんはいま、白い液体をぶっかけることを
望んでいる……



男性恐怖症の彼女には、男性に対して興奮すること
ができないうが両性特徴を持つふたなり牛娘には、
「367」さんは抵抗せずところがむしろ更なる興奮した
様子に見える、両手の動きはそれを上手く証明した

「367」さんはいま、白い液体をぶっかけることを望んでいる……











ドロドロの粘稠液が「367」さんの年齢に相應しく
ない巨大な胸にぶっかった
精液の生臭さはどうやら「367」さんに興奮して
たらしい

乳首を観察すると、既に勃起している



ドロドロの粘稠液が「367」さんの年齢に相應しく
ない巨大な胸にぶっかけった
精液の生臭さはどうやら「367」さんに興奮して
たらしい

乳首を観察すると、既に勃起している



長い間「367」さんとの接触をしているスタッフたち
には分かる、これだけじゃまだこの小娘の搾乳絶
好期にたどり着ていない
そこでVR設備を増やして、ホルモンの発散を加速
させようとする







胸の当たりの器具からの生臭さは確かに彼女に
興奮した
もう一同精液に支配しようとするため、発情した
彼女は再び胸と両手を動かすことにした



目の前の少女がまだ乳臭いの中生であることは
このスタッフではない人じゃ信じられないでしょ

胸の当たりの器具からの生臭さは確かに彼女に
興奮した
もう一同精液に支配しようとするため、発情した
彼女は再び胸と両手を動かすことにした



目の前の少女がまだ乳臭いの中生であることは
このスタッフではない人じゃ信じられないでしよ











暫くの間.....

目の前の牛娘は、この世界で何度も性行為
を体験した後、乳房はホルモンの発散で
立派な形になってしまった

そのデカさは、ほとんどの成人牛娘に超越した
「367」さんのミルクの品質を更なる上がるために
今回はもっと過激なVRシーンを用意した



目の前の牛娘は、この世界で何度も性行為
を体験した後、乳房はホルモンの発散で
立派な形になってしまった

そのデカさは、ほとんどの成人牛娘に超越した
「367」さんのミルクの品質を更なる上がるために
今回はもっと過激なVRシーンを用意した



「ニプルファック」

それは牛娘の乳腺を刺激するために一番いい手段である牛によってそれぞれですが、大体の牛娘の性感帯は乳首のところであるそのため、牛娘の乳首は非常にデカく、挿入しやすいこれも乳牛族によくある性行手段の一つである

しかし、目の前の牛娘にとってはその「初体験」は果たして快感をもたらすのかは分からない



「ニプルファック」

それは牛娘の乳腺を刺激するために一番いい手段である牛によつてそれぞれですが、大体の牛娘の性感帯は乳首のところであるそのため、牛娘の乳首は非常にデカく、挿入しやすいこれも乳牛族によくある性行手段の一つである

しかし、目の前の牛娘にとつてはその「初体験」は果たして快感をもたらすのかは分からない



少女の表情は未知なる快感に支配され、手の隣のふたなり牛娘の器具をシヨリ続ける様子を見て、スタツフたちは安心した

ははは

たふ、

ちゅ、

367

ははは

たふ、

ちゅ、

あとは搾乳の時待つてばいい……

たふ、

ちゅ、

少女の表情は未知なる快感に支配され、手の隣
のふたなり牛娘の器具をシヨリ続ける様子を見
て、スタツフたちは安心した

ははは

シヨ

たふ

ちや

367

シヨ

あとは搾乳の時待つてばいい……

たふ

ちや









現実世界の「367」さんは噴乳し始めた
時はきた……………



「367」さんを興奮しているまま優質ミルクを
搾るために、VR設備は今のところ取り外さ
れないようにした
同時に搾乳機を使い始めた



ミルクの噴射は想像以上でした
今日は大豊作になりそう!!

スタッフたちの異常の喜びも無理もない
普通の牛娘は一日中生産できるミルクの量は4L
ぐらいでしたか

きゅん

はははは

367

きゅん

今日の「367」さん表現から見ると、どうやら10L
以上、いや、もつとかもしれない……

ミルクの噴射はまだ止まっていけない
「ニプルファック」の刺激は正しいでした

ぎゅっ♡

ははは♡

♡♡♡

にゅっ♡

今後彼女は拒絶を示さない限り、[367]さんの
生産量はもつと上がるでしょう





最終的にミルクの産量は18Lでした
こんなことはここにいる人々の想像以上でした
シミュレーションの計算したデータから見ると
[367]さんはいつかそれ以上のミルクの量を生産できる
彼女は、この業界を変えるかもしれない……

搾乳した「367」さんが気絶する様子を見て
スタツフたちは手に汗握った
幸い単なる「初体験」の興奮によるもので
どうやら慣れさえすれば、解決できるとのことだ

その間、女性スタツフは彼女が起きたら
びしょびしょしないため、胸の余分の母
乳を細かく拭き取った



暫くの間、「367」さんが目覚めました
ぼんやりしている様子には見えますが……
それと乳首の異常の勃起から見ると
どうやら「367」さんはまだ満たされていない



「今日はこれ以上してはいけない」
彼女の体を考えるために、私はそう判断した
この後はスタツフたちが彼女を家まで送つて
次の搾乳を待つのみ

では、お休み、また次に会いましょう
「我が愛しいサルナーン」

to be continued

ここは「株式会社アフロディーテ
フェアリー所属乳業」
目の前の牛娘さんは今日の来客
「367」室に長くサービスする客なので
スタッフたちは彼女のこと「367」と呼ぶ

性行為で牛娘のホルモンを刺激し搾乳をする
会社と違って、本社は最先端の乳技術を使って
ビッグデータの学習と五感の
シミュレーションを通じて、牛娘たちに魔法の
ような体験ができる
更に、実な性行為がないため、未成年の牛娘でも
本社でのアルバイトすることによって、楽観的
な収益をもたらえる



搾乳をする前に、牛娘たちに胸を丸出しの必要だ



何回もアルバイトをしていますが見知らぬ人の前に自らの上半身を裸にするのは、目の前の未熟な子牛にとつて、やはり少し照れている

胸を丸出しにしていたら、スタッフは「367」さん
を手伝ってVR設備を装備します
一連の調整をしてたら、やっと本題が始まる



「367」さん男性に対して異常なる恐怖を持っているため特別なVRシートの対象を調整した、それが今彼女の目の前に映っているもの

「ふたなり牛娘」



「367」さん男性に対して異常なる恐怖を持っているため特別なVRシートの対象を調整した、それが今彼女の目の前に映っているもの

「ふたなり牛娘」



男性恐怖症の彼女には、男性に対して興奮すること
ができな
両性特徴を持つふたなり牛娘には、**「367」**さんは
抵抗せずところが
むしろ更なる興奮した様子に見える、**両手**の動き
はそれを上手く証明した

「367」さんはいま、**白い液体**をぶっかけることを
望んでいる……



男性恐怖症の彼女には、男性に対して興奮すること
ができな
両性特徴を持つふたなり牛娘には、**「367」**さんは
抵抗せずところが
むしろ更なる興奮した様子に見える、**両手**の動き
はそれを上手く証明した

「367」さんはいま、白い液体をぶっかけることを
望んでいる……











ドロドロの粘稠液が「367」さんの年齢に相應しく
ない巨大な胸にぶっかけった
精液の生臭さはどうやら「367」さんに興奮して
たらしい

乳首を観察すると、既に勃起している



ドロドロの粘稠液が「367」さんの年齢に相應しく
ない巨大な胸にぶっかった
精液の生臭さはどうやら「367」さんに興奮して
たらしい

乳首を観察すると、既に勃起している



長い間「367」さんとの接触をしているスタッフたちには分かる、これだけじゃまだこの小娘の搾乳絶好期にたどり着ていない
そこでVR設備を増やして、ホルモンの発散を加速させようとする







胸の当たりの器具からの生臭さは確かに彼女に
興奮した
もう一同精液に支配しようとするため、発情した
彼女は再び胸と両手を動かすことにした



目の前の少女がまだ乳臭いの中生であることは
このスタッフではない人じゃ信じられないでしょ

胸の当たりの器具からの生臭さは確かに彼女に
興奮した
もう一同精液に支配しようとするため、発情した
彼女は再び胸と両手を動かすことにした



目の前の少女がまだ乳臭いの中 生であることは
このスタッフではない人じゃ信じられないでしよ











暫くの間……

目の前の牛娘は、この世界で何度も性行為
を体験した後、乳房はホルモンの発散で
立派な形になってしまった

そのデカさは、ほとんどの成人牛娘に超越した
「367」さんのミルクの品質を更なる上がるために
今回はもっと過激なVRシーンを用意した



目の前の牛娘は、この世界で何度も性行為
を体験した後、乳房はホルモンの発散で
立派な形になってしまった

そのデカさは、ほとんどの成人牛娘に超越した
「367」さんのミルクの品質を更なる上がるために
今回はもっと過激なVRシーンを用意した



「ニプルファック」

それは牛娘の乳腺を刺激するために一番いい手段である牛によつてそれぞれですが、大体の牛娘の性感帯は乳首のところであるそのため、牛娘の乳首は非常にデカく、挿入しやすいこれも乳牛族によくある性行手段の一つである

しかし、目の前の牛娘にとつてはその「初体験」は果たして快感をもたらすのかは分からない



「ニプルファック」

それは牛娘の乳腺を刺激するために一番いい手段である
牛によつてそれぞれですが、大体の牛娘の性感帯は乳首のところである
そのため、牛娘の乳首は非常にデカく、挿入しやすい
これも乳牛族によくある性行手段の一つである

しかし、目の前の牛娘にとってはその「初体験」は果たして快感をもたらすのかは分からない



少女の表情は未知なる快感に支配され、手の隣のふたなり牛娘の器具をシヨリ続ける様子を見て、スタツフたちは安心した

あとは搾乳の時待つてばいい……

ははは

ははは

たふ

たふ

たふ

たふ



少女の表情は未知なる快感に支配され、手の隣のふたなり牛娘の器具をシヨリ続ける様子を見て、スタツフたちは安心した

ははは

たふ

ちや

367

あとは搾乳の時待つてばいい……

たふ

ちや









現実世界の「367」さんは噴乳し始めた
時はきた.....



ビュッ
ッ

ビュッ
ッ

「367」さんを興奮しているまま優質ミルクを
搾るために、VR設備は今のところ取り外さ
れないようにした
同時に搾乳機を使い始めた



ミルクの噴射は想像以上でした
今日は大豊作になりそう！

スタッフたちの異常の喜びも無理もない
普通の牛娘は一日中生産できるミルクの量は4L
ぐらいでしたか

まき

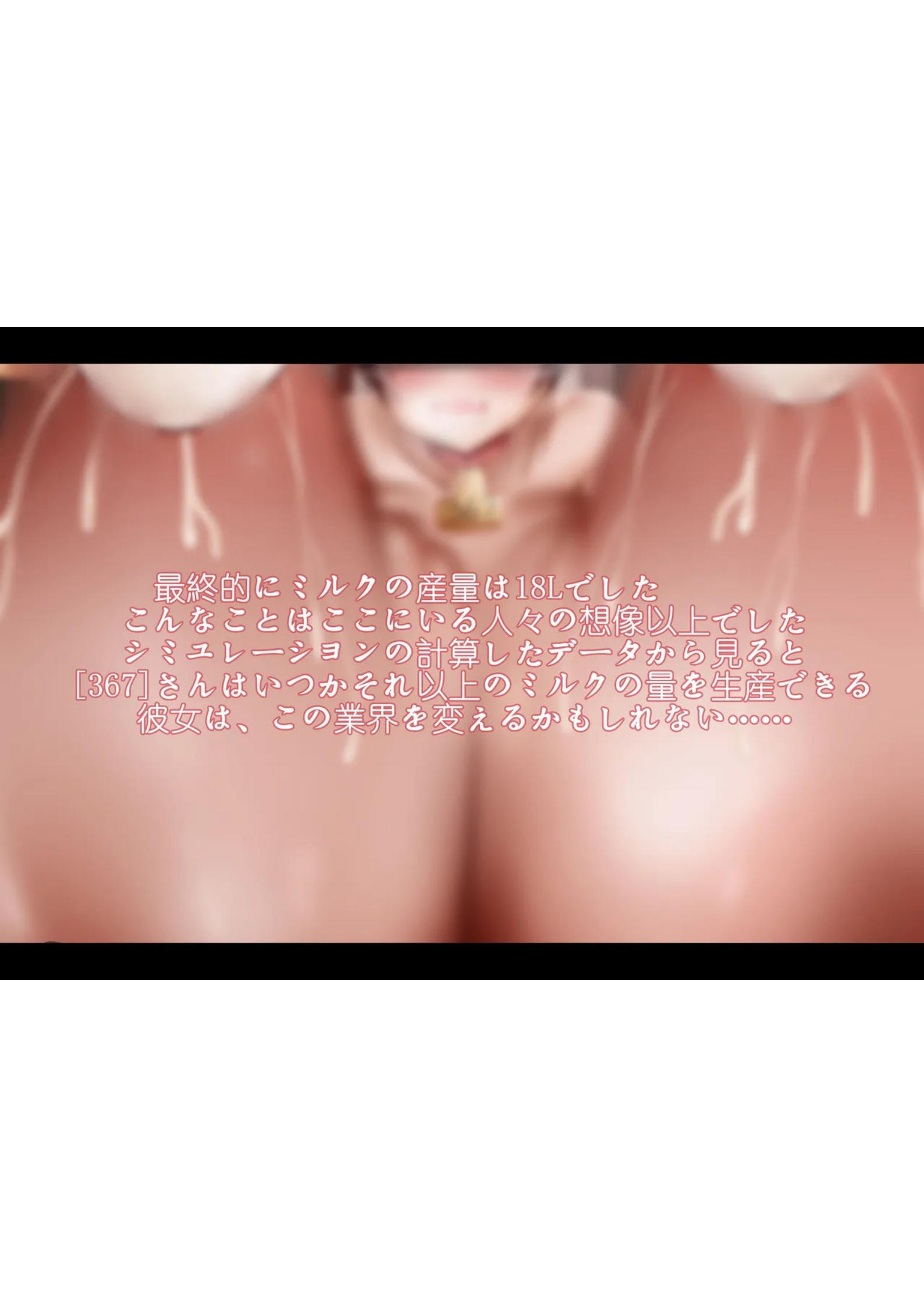
ははははは



まき

今日の「367」さん表現から見ると、どうやら10L
以上、いや、もつとかもしれない……





最終的にミルクの産量は18Lでした
こんなことはここにいる人々の想像以上でした
シミュレーションの計算したデータから見ると
[367]さんはいつかそれ以上のミルクの量を生産できる
彼女は、この業界を変えるかもしれない……

搾乳した「367」さんが気絶する様子を見て
スタツフたちは手に汗握った
幸い単なる「初体験」の興奮によるもので
どうやら慣れさえすれば、解決できるとのことだ

その間、女性スタツフは彼女が起きたら
びしょびしょしないため、胸の余分の母
乳を細かく拭き取った



暫くの間、「367」さんが目覚めました
ぼんやりしている様子には見えますが……
それと乳首の異常の勃起から見ると
どうやら「367」さんはまだ満たされていない



「今日はこれ以上してはいけない」
彼女の体を考えるために、私はそう判断した
この後はスタツフたちが彼女を家まで送つて
次の搾乳を待つのみ

では、お休み、また次に会いましょう
「我が愛しいサルナーン」

to be continued

这里是「阿佛洛狄忒妖精集团旗下所属的VR乳业」
眼前的这位乳牛小姐是今天的来客
由于长期服务于「367」房
因此员工都称呼她为「367」



与长久以来通过性行为刺激女性乳牛的其他公司不
一样，本公司采用的最为先进的「技术」
通过大数据学习以及机械模拟五感让雌性乳牛们能
得到魔法般的体验
更重要的是，本公司并没有实际上的性行为，因此
即便未成年乳牛，也能通过在本公司的短期工作
来获得较为可观的收益

榨乳的第一步还是要让少女脱下自己的上衣



尽管已经短期工作多次了
在陌生人面前裸露自己的上半身，对于眼前心智
尚未成熟小乳牛来说，难免还是会有一些羞涩

在脱下上衣后，员工将会帮助「367」小姐带上VR设备
在经历一系列调整后，便可以开始正题了



[367]小姐似乎对于男性有着异常的恐惧
因此针对[367]小姐，我们调整了特殊的VR场景

扶她乳牛
这就是我们的解决方案



[367]小姐似乎对于男性有着异常的恐惧
因此针对[367]小姐，我们调整了特殊的VR场景

扶她乳牛
这就是我们的解决方案



尽管对于男性恐惧症的她并不能对于男性感到兴奋
但对于同时具有两性特征的扶她乳牛
「367」小姐并不显得抗拒

相反，她会更加兴奋，双手的撻动很好的正面的这一「367」小姐十分渴望着精液喷射的那一刻……



尽管对于男性恐惧症的她并不能对于男性感到兴奋
但对于同时具有两性特征的扶她乳牛
「367」小姐并不显得抗拒

相反，她会更加兴奋，双手的撻动很好的正面的这一「367」小姐十分渴望着精液喷射的那一刻……













仔细观察乳头，似乎已经勃起了……

白色的粘稠液喷射在「367」小姐那与年龄不相符的巨大胸部上，
精液的腥臭似乎能让「367」小姐更为兴奋

白色的粘稠液喷射在「367」小姐那与年龄不相符的巨大胸部上，
精液的腥臭似乎能让「367」小姐更为兴奋

仔细观察乳头，似乎已经勃起了……



多次对接「367」小姐的员工们都清楚，仅仅是这样并不能达到那个女孩榨乳的成熟期，因此便增加了VR设备，试图加速她的荷尔蒙散发







胸部处的阴茎的腥臭果然加速了她的兴奋
发情的她再次动起了胸部和手部，试图再一次体
验被精液支配的快感

如果不是这里的员工，人们怕是不敢想象眼前的
这位少女居然是一名乳臭未干的中生



胸部处的阴茎的腥臭果然加速了她的兴奋
发情的她再次动起了胸部和手部，试图再一次体
验被精液支配的快感

如果不是这里的员工，人们怕是不敢想象眼前的
这位少女居然是一名乳臭未干的中生



